

和歌山市景観計画策定に向けたアンケートの結果概要

1. 目的

和歌山市景観計画策定に向けた検討にあたり、市民が普段感じている和歌山市の景観に対する考えを伺い、今後の計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 概要

「郵送による市民アンケート調査」と「街頭インタビュー形式のアンケート調査」の2種類を実施しました。

※ 街頭インタビューでは、和歌山市の景観資源（お気に入りの場所）や問題・課題と感ずる場所についてのみ設問。

〈市民アンケートの実施概要〉

- 調査対象 : 市内在住の20歳以上の男女から無作為に3,000人を抽出
(住民基本台帳データを使用)
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収、督促状を2月3日に送付
- 調査期間 : 平成22年1月27日(水)～2月10日(水)
- 配布・回収数等 : 配布数 3,000通
回収数 1,516通(回収率 50.5%)
- 設問項目 : 市の景観への評価について
お気に入りの景観について
市の景観づくりの取り組みについて
景観づくりへの協力・参加意向について
フェイスシート(性別・年齢・居住地など)

〈街頭アンケートの調査場所・実施日・回収数〉

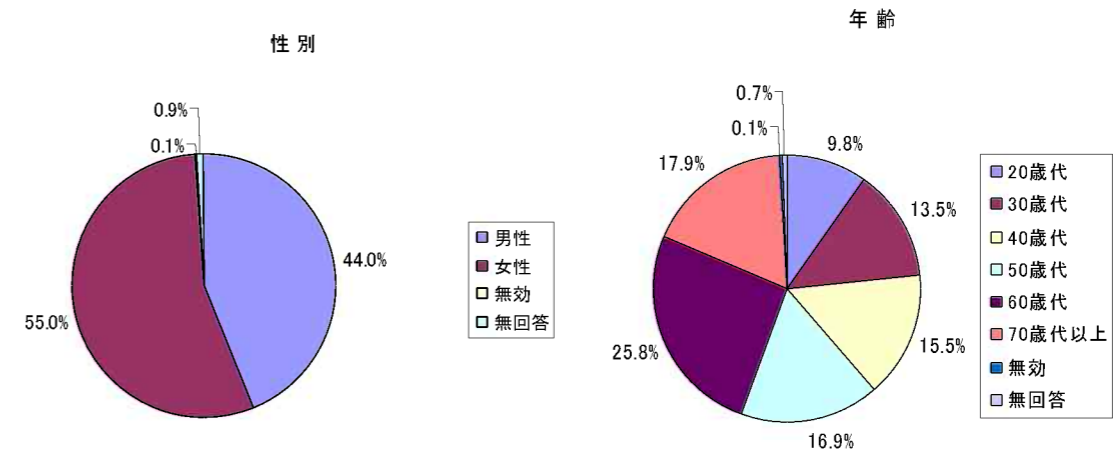
調査場所	調査実施日	回収数
パームシティ和歌山	2/13(土)、2/15(月) 10時～17時	255
ガーデンパーク和歌山	2/14(日)、2/16(火) 10時～17時	230
JR和歌山駅	2/18(木)、2/20(土) 10時～17時	159
南海和歌山市駅	2/19(金)、2/21(日) 10時～17時	165
イズミヤ 紀伊川辺店	2/27(土) 10時～17時	90
イズミヤ 和歌山店	2/28(日) 10時～17時	110
合計		1009

- 設問項目 : 市の景観について(お気に入りの場所、改善が必要と思われる場所)
フェイスシート(年齢・性別・居住地)

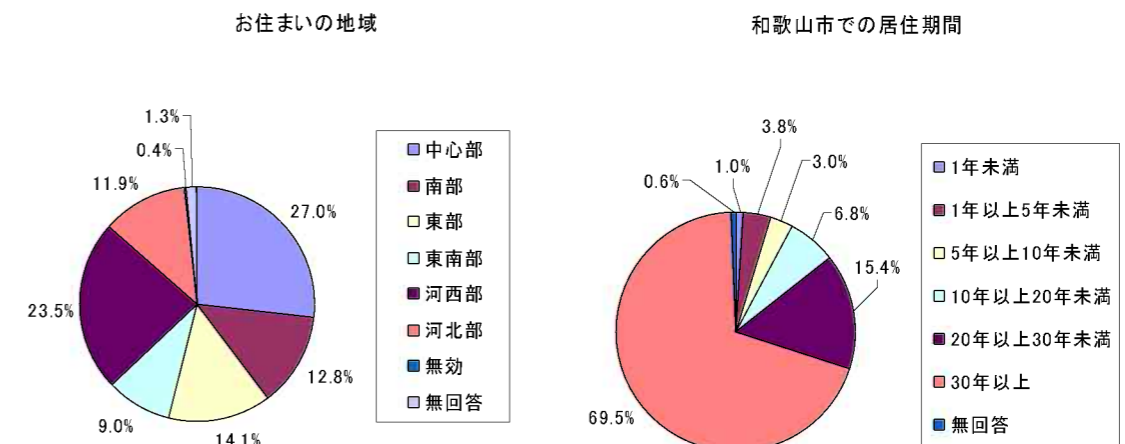
3. 市民アンケート調査より

3-1 回答者の属性

- 性別は男性が44.0%、女性が55.0%。
- 年齢は60歳代、70歳代の割合が若干高くなっていますが、サンプリングの段階で偏りが無いように配慮したことから、ほぼ均等に分布しています。



- 居住地は中心部が27.0%、河西部が23.5%と、この2地区で過半を占めています。
- 居住期間は30年以上暮らしている方が69.5%と多数を占めています。



居住地の分類

- 中心部：本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
- 南部：雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草
- 東部：四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
- 東南部：岡崎、三田、安原、西山東、東山東
- 河西部：野崎、湊、松江、木本、貴志、楠見、西脇、加太
- 河北部：有功、直川、川永、山口、紀伊

3-2 市の景観（まちなみ・風景）への評価について

〈市内の類型別景観の評価〉

●湾・海岸や山林の自然景観、和歌山城周辺のまちなみ景観が高い評価を得ています

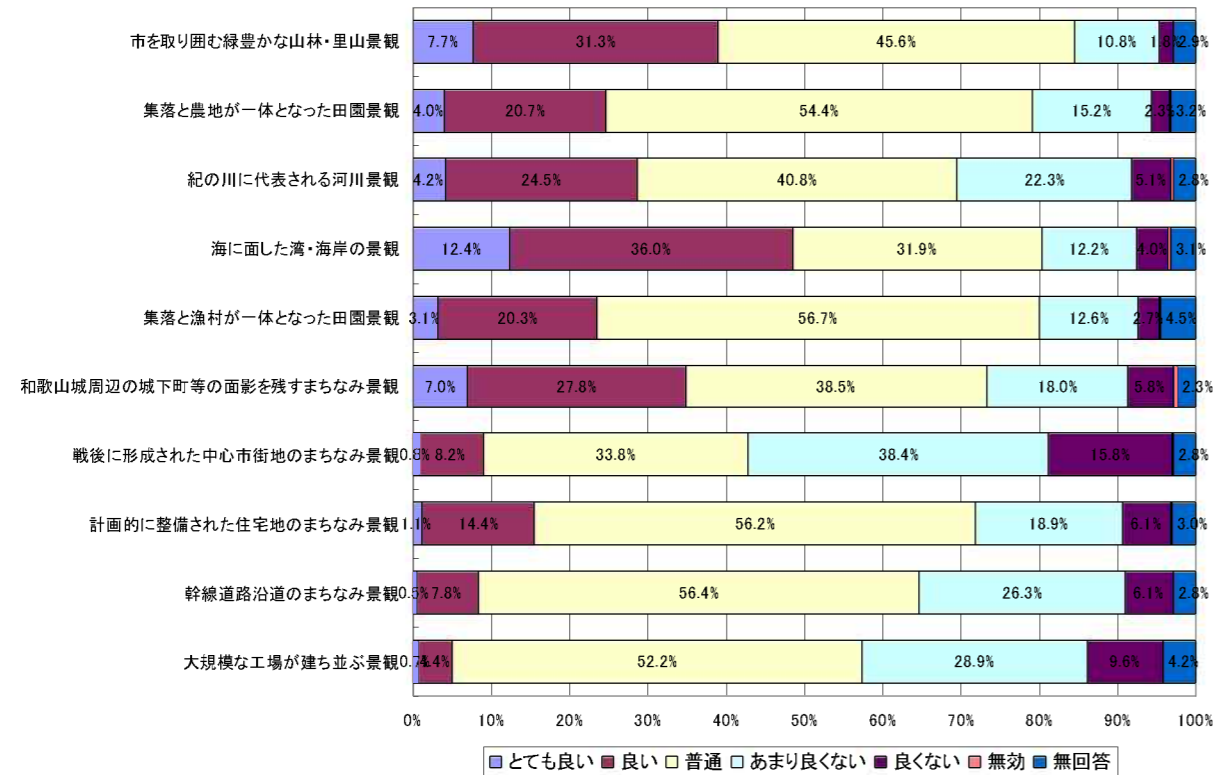
- 「海に面した湾・海岸の景観」「市を取り囲む緑豊かな山林・里山景観」など山・海の自然景観が高く評価されています。
- 「紀の川に代表される河川景観」は、良い評価も良くない評価も同程度見られ、同じ自然系の景観であっても、湾・海岸、山林ほど評価されていません。
- 「和歌山城周辺の城下町等の面影を残すまちなみ景観」は、高い評価が得られています。

●市街地景観についての評価が全般的に低くなっています

- 「戦後に形成された中心市街地（大通り・商店街・駅前など）のまちなみ景観」は、半数近くが「あまり良くない」「良くない」と回答しています。
- 「大規模な工場が建ち並ぶ景観」「幹線道路沿道のまちなみ景観」についても、3割近くが否定的な評価となっており、市街地の景観については概して評価が低くなっています。

●それ以外の景観については、あまり意識がされていません

- 「集落と農地が一体となった田園景観」「集落と漁村が一体となった田園景観」「計画的に整備された住宅地のまちなみ景観」は大半が「普通」と回答し、あまり意識がされていないと考えられます。



〈市内の景観を損ねているもの〉

●まちなかの空き店舗・空き地、マナーの悪さに問題が集中しています

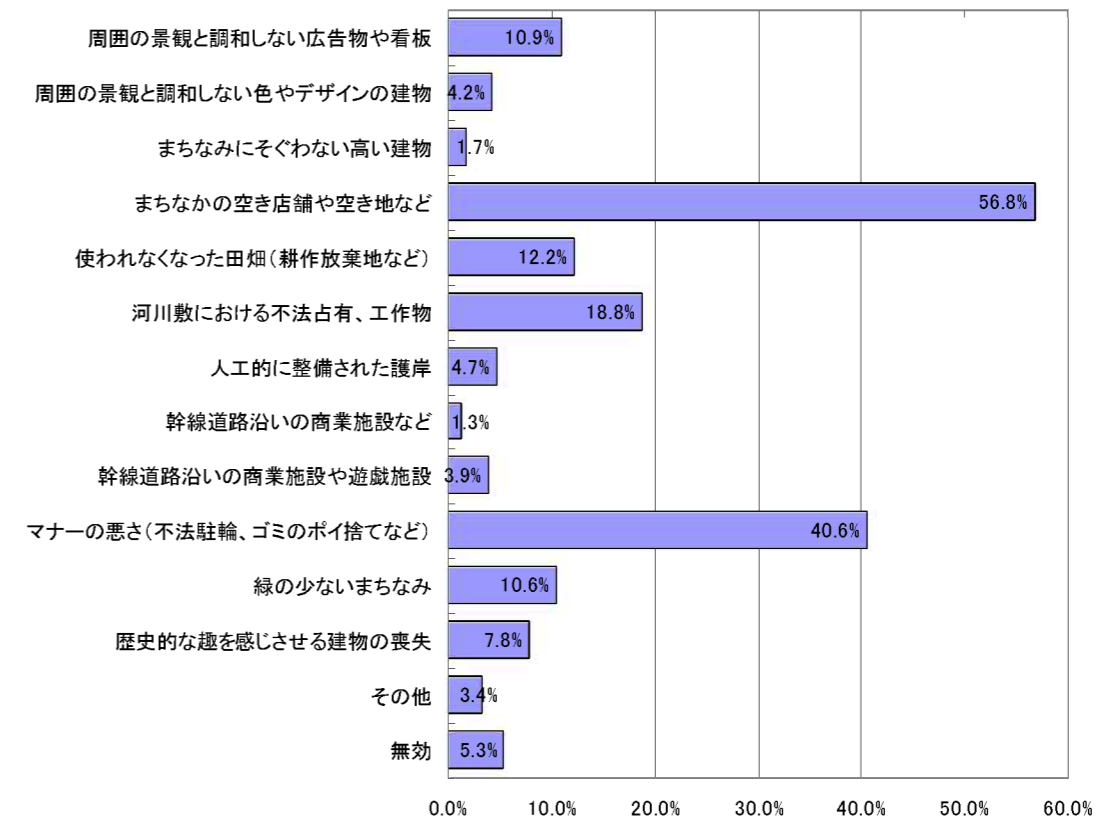
- 「まちなかの空き店舗や空き地など」を挙げた人は全体の56.8%と突出しています。
- また、中心市街地などで見られる空き店舗・空き地、道路沿道での空き地等、まちの元気が感じられず寂れた様子に、問題意識が集中しています。
- 加えて、「マナーの悪さ（不法駐輪、ゴミのポイ捨てなど）」という美化の問題が挙げられています。

●その他、阻害要因としては道路上の景観が多く挙げられています

- その他で挙げられている阻害要因としては、道路（幹線道路、歩道、自動車道）の整備の遅れの他、電線・電柱が見苦しい、街路樹の手入れがなされていない、ゴミのポイ捨てが多い、といった、道路上の景観に対する意見が多く見られました。

●具体的な場所では、ぶらくり丁や美園商店街といった中心市街地、JR和歌山駅・南海和歌山市駅の駅前の他、紀の川周辺における景観の悪化等が挙げられていました

- 具体的な場所では、「ぶらくり丁」が圧倒的に多く、次いで「美園商店街」でした。
- JR和歌山駅・南海和歌山市駅の「駅前」についても、「玄関口として廃れている」「貧弱な感じがして活気がない」といった活気のなさを懸念する声が多く寄せられました。
- 「紀の川周辺」では、河川敷の利用に意見が集中し、草木の繁茂やゴミ捨てによる景観の悪化、不法占有の問題などが挙げられていました。



3-3 市の景観（まちなみ・風景）づくりの取り組みについて

〈行政の良好な景観づくりに向けた取り組み〉

●市全体の方針づくりに加え、公共施設の整備、重要な資源の保全と活用に期待が寄せられています

- 「市全体の景観形成の方針づくり」「良好な景観づくりを先導する公共施設(道路、公園など)の整備」「景観上重要な資源の保全と活用」については、回答者の8割以上が「(特に)重要である」と回答しており、市の取り組みとして期待が大きいことが分かります。

●建物や広告の規制誘導に対しても一定の役割が期待されています

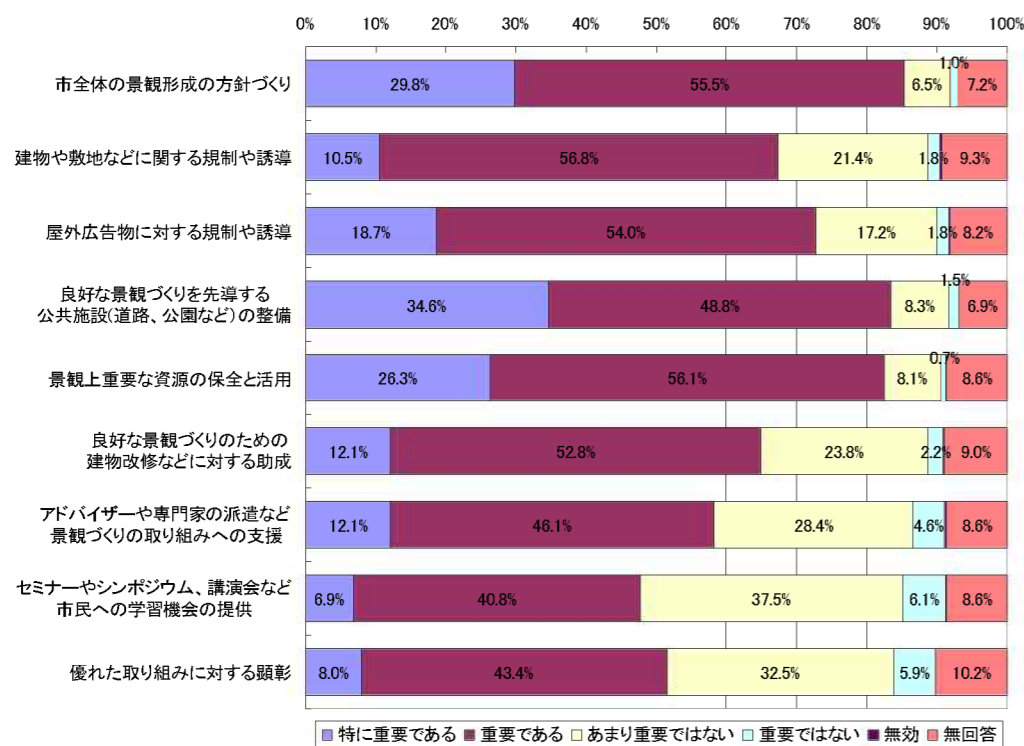
- 「建物や敷地などに関する規制や誘導」「屋外広告物に対する規制や誘導」についても、一定の役割が期待されています。

●助成や支援に期待感がありますが、学習機会の提供や顕彰はあまり重視されていません

- 「良好な景観づくりのための建物改修などに対する助成」「アドバイザーや専門家の派遣など景観づくりの取り組みへの支援」は、6割以上が「(特に)重要である」と回答しており、助成や支援への一定の期待がうかがえます。
- 「セミナーやシンポジウム、講演会など市民への学習機会の提供」「優れた取り組みに対する顕彰」など、景観に関する市民活動への支援は、「あまり重要ではない」という回答の割合が多くなっています。

●その他として、ビジョンの共有とそれを実現するための市民参加に期待が寄せられています

- 「明確なビジョンの共有と、ビジョンのある景観形成を実現するための市民参加が必要」、「市民の気持ちを盛り上げる目標を示して任せる」「もっと市民一人一人が自覚を持って取り組むべきである」など、「市としての景観のビジョンを掲げ、広く共有し、それを実現するために市民参加にも取り組むべき」という意見がみられます。



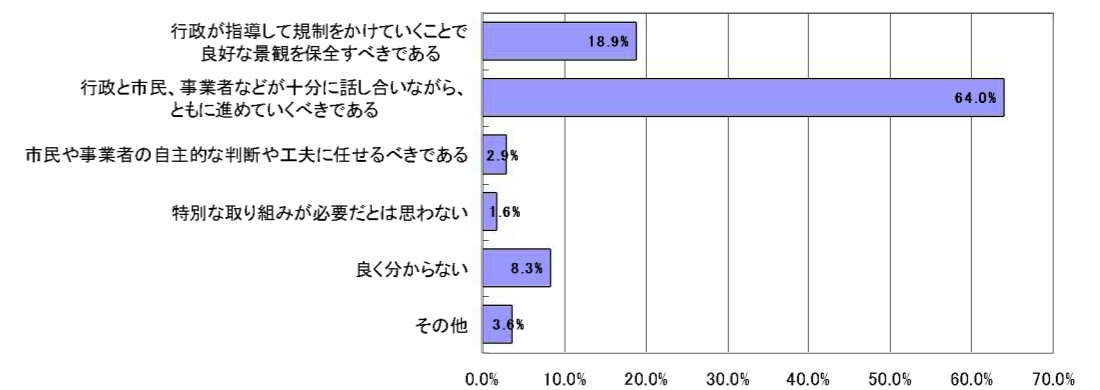
〈和歌山市の良好な景観づくりに向けて取り組む際の姿勢〉

●「行政と市民、事業者が話しあいながらともに進めるべき」との意見が大半でした

- 回答者の過半数以上が「行政と市民、事業者などが十分に話し合いながら、ともに進めていくべきである」と回答しており、協働による景観づくりを重視しています。

●その他として、外部の意見を取り入れるべきという意見や、市民も巻き込んだ取り組みが必要との意見が挙げられました

- 「観光客や外から来た人の意見を取り入れるべき」、「デザイン等について造詣の深い人物を招き、指導を仰ぐべき」といった外部の意見を取り入れるべきとの意見が挙がっています。
- また、市民と行政が一体となって取り組むことの重要性についても指摘されています。



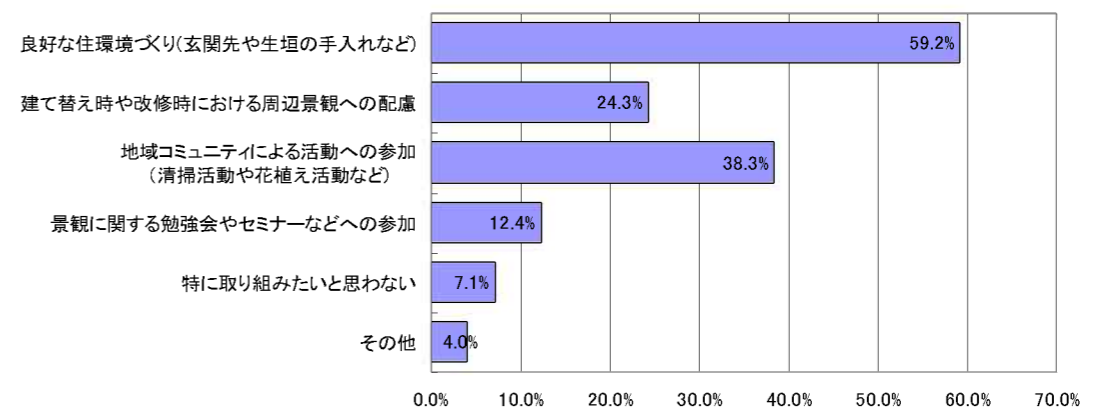
3-4 景観（まちなみ・風景）づくりへの協力・参加意向について

①身近なところから出来るソフトの活動への参加意向が高くなっています

- 「良好な住環境づくり(玄関先や生垣の手入れなど)」、「地域コミュニティによる活動への参加(清掃活動や花植え活動など)」への回答が比較的多く、自分で身近なところから出来るソフトの活動からの参加意向が見られます。

②学習の機会への参加意向は高くない

- 「景観に関する勉強会やセミナーなどへの参加」など景観に関する学習機会への参加意向は高くありません。



4. お気に入りの景観（まちなみ・風景）について

ここでは、市民アンケートで聞いた「お気に入り景観（まちなみ・風景）」の他、街頭アンケートの「お気に入りの場所、改善が必要と思われる場所」の結果概要を示します。

〈お気に入りの景観について〉

● 第1グループ

「和歌浦・雑賀崎(周辺)」、「和歌山城(周辺)」

- 「和歌浦・雑賀崎(周辺)」では、海岸美をはじめとする風光明媚な景色はもちろん、「片男波」「番所庭園」「不老橋」「養翠園」などもお気に入りの景観資源として挙げられています。
- 「和歌山城(周辺)」は、多くの人々が「シンボル(象徴)」と認識しており、「桜に囲まれた和歌山城」や「三年坂から見る和歌山城」などに対する愛着の高さがうかがえます。

● 第2グループ

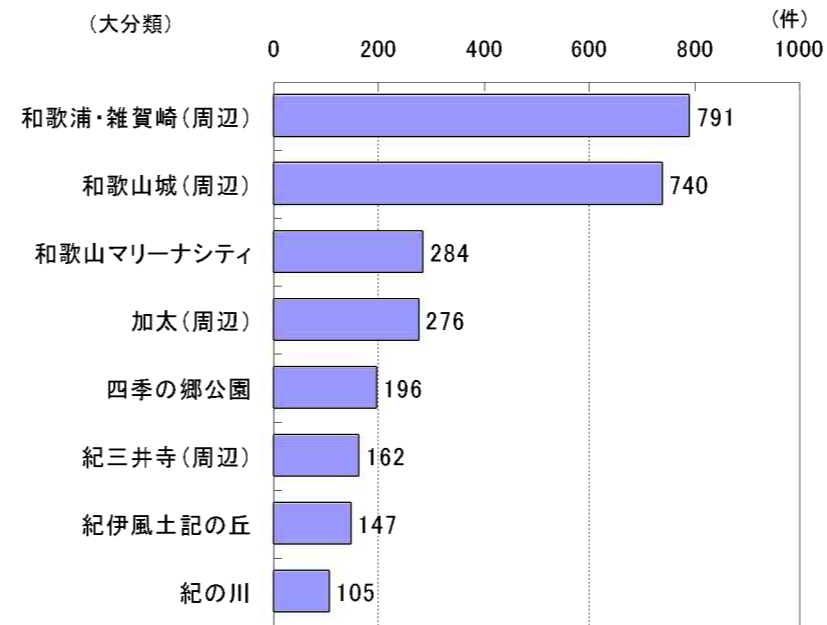
「和歌山マリーナシティ」、「加太(周辺)」

- 「和歌山マリーナシティ」では、「美しい海が望める」「夕日がきれい」といった景観面からの選択以外に、「活気がある」「楽しく遊べるスポット」といった、訪れて遊べる・楽しめる場所であることも選択理由として挙がっています。
- 「加太(周辺)」は、高台から見る紀伊水道の景色の他、景勝地である「城ヶ崎」、雛流しで有名な「淡島神社」や「磯ノ浦」などが具体的な名前として挙げられています。

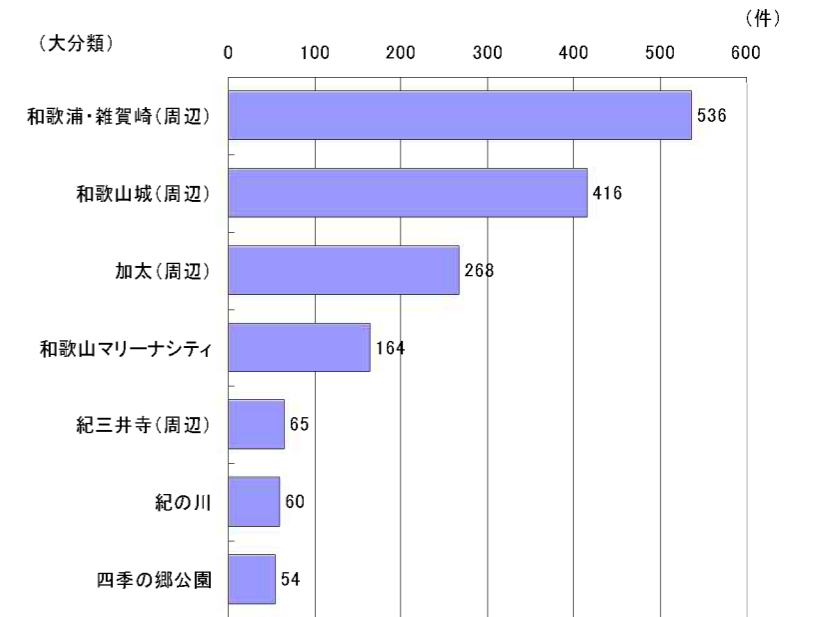
● 第3グループ

「四季の郷公園」、「紀三井寺(周辺)」、「紀伊風土記の丘」、「紀の川」など

- 「四季の郷公園」は、「緑豊かな自然に触れることができる」「子どもと遊ぶのに適している」といった理由から人気が高くなっています。
- 「紀三井寺(周辺)」は、「新緑や早咲きの桜が楽しめる」、「和歌浦を一望できるスポット」などが理由として挙がっています。
- 「紀伊風土記の丘」は、気軽に歴史に触れることができる点の他に、「ウォーキングコースや散歩コースに適している」といった理由からも人気が高くなっています。
- 「紀の川」は、「雄大な川の流れを感じることができる」「河口部の夕日の美しさ」などが理由として挙がっています。また、河川敷の「せせらぎ公園」もお気に入りの場所として挙がっています。



お気に入りの景観資源(100件以上の回答があったものを抜粋)
※市民アンケートより



お気に入りの場所(50件以上の回答があったものを抜粋)
※街頭アンケートより

● 第1グループ

「ぶらくり丁」

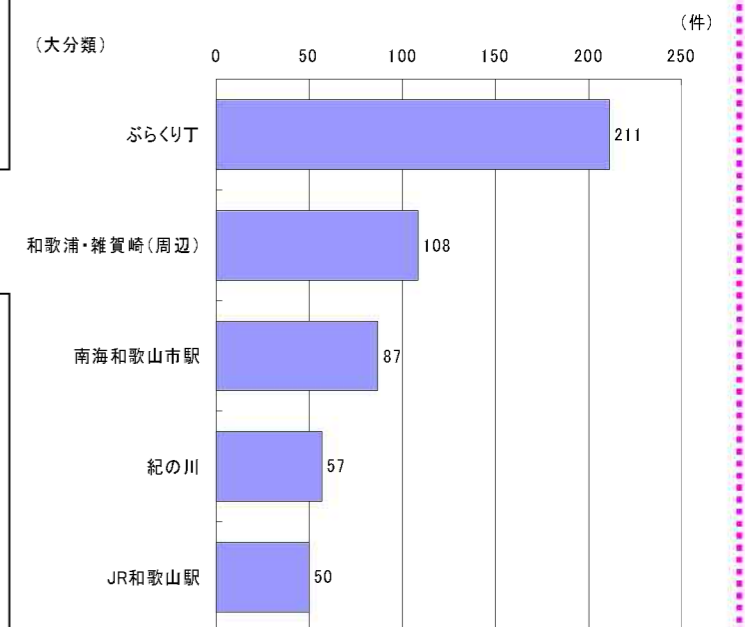
- 大半が「和歌山の中心部なのに寂れている、活気がない」といった意見で占められており、景観面というよりまちの停滞感に対する危機感がうかがえます。

● 第2グループ

「和歌浦・雑賀崎(周辺)」、「南海和歌山市駅」

- 「和歌浦・雑賀崎(周辺)」は、「全体的に寂れた感じがある」「老朽化(または廃業)した旅館・ホテルが停滞感を煽る」「海辺のゴミが目立つ」といった意見が挙げられています。
- 「南海和歌山市駅」は、「寂れた感じがする」「近隣の商店街も元気がない」といった意見が挙がっています。

〈改善が必要と思われる場所について〉



改善が必要と思われる場所(50件以上の回答があったものを抜粋)
※街頭アンケートより

《市民アンケート・街頭アンケートお気に入りの景観資源や場所》



高台より紀伊水道を望む



磯の浦



淡嶋神社



三年坂から見る和歌山城



和歌浦湾



奠供山より名草山方面を望む



けやき大通り



紀ノ川 I.C.からの眺望



日前神宮



紀伊風土記の丘



四季の郷公園



伊太祁曽神社



紀三井寺から和歌浦を望む



紀三井寺



鏡山より南を望む



番所庭園より西を望む



和歌山マリーナシティ

凡 例	
●	歴史的資源
◎	公園・レクリエーション施設
◆	その他